

指定航空従事者養成施設に入所するみなさんへ

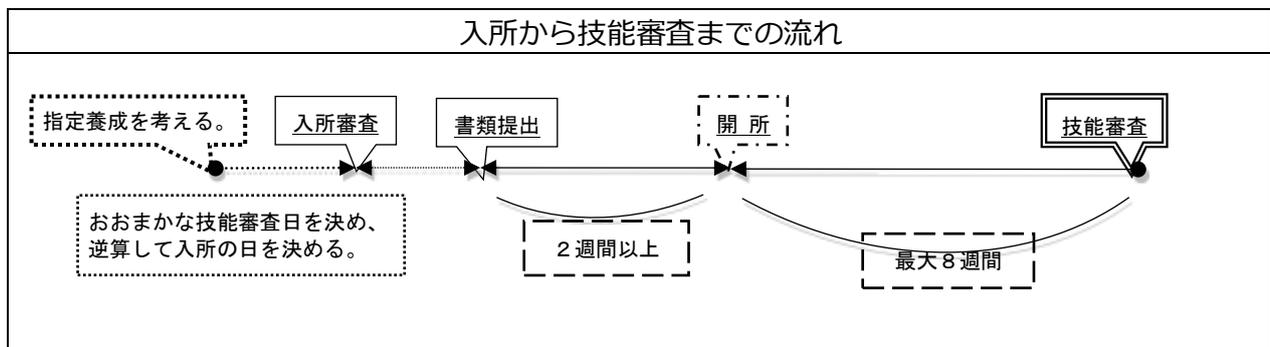
1. 指定養成の入所基準[☆]を確認する

- ☆ 入所基準：飛行経歴等が次の要件を満たしていること。
- ① 総飛行回数：70 回以上
 - ② 単独飛行時間：2 時間 50 分以上
 - ③ 単独飛行回数：28 回以上
 - ④ 空中操作科目：20 回以上
 - ⑤ 緊急処置：5 回以上
 - ⑥ 入所審査において、養成期間内に自家用操縦士の技能審査に合格する見込みがあると認められた者であること。
 - ⑦ 学科試験結果通知書の期限は、技能審査に合格し技能証明書申請を行うまで有効であること。

2. 入所必要書類等を準備する。

- ◎ 各自で用意する書類等
- ① 操縦練習許可書
 - ② 学科試験合格通知書の写し(コピー2部)
 - ③ 本人の住民票(本籍が記載されたもの)
 - ④ 写真(審査 6 ヶ月以内、脱帽、上半身、無背景、裏面に氏名、撮影年月日を記入、自家用と記入) 1 枚(3×2.5 cm)
 - ⑤ ログブックのコピー(コース前 30 回以上分)
 - ⑥ 印鑑
 - ⑦ 技能証明申請書(鳳文書林で購入)港区新橋 3-7-3 Tel 03-3591-0909
* 技能証明申請書(A4 両面赤色刷り)
* 申請にあたっての注意事項(A3 二つ折り)
* 納付書(A4 片面刷り) ※今回は必要ありません。
 - ⑧ 入所関連書類(学連本部)

入所から技能審査までの流れ



3.指定養成施設開所の準備をする。

- (1) 入所審査日程を検討する。
- (2) 合宿の設定：指定養成を自校の合宿で行うか？ 新たに合宿を組むか？
合宿の最低日数として4日は必要です。(審査日を含まず。)
- (3) 指定養成認定教官をお願いする。
- (4) 審査員の予定を確認する。
 - ※ 天候等を考慮し、予備日を必ず設定する。(2日位)
 - ※ 指定養成施設を開所後は、審査終了まで指定養成以外の飛行訓練は出来ません。

4. 入所審査を受ける。

- (1) 指定養成教官と入所審査の日程を調整する。
- (2) 指定養成認定教官に入所審査を依頼する。審査は、主席教官（主席教官不在の場合は、入所者の能力を良く理解している教官で原則として技能審査時に立ち会える教官）が行う。
- (3) 操縦練習許可書の確認。
 - ① 操縦練習許可書の裏書：指定養成施設で使用する滑空機と同形式の滑空機の単独証明がされていますか？（受験機がASK21なら、ASK21の単独証明。）
 - ② 操縦練習許可書の有効期間：技能審査が終了するまで有効期限がありますか？
 - ③ 操縦練習許可書の有効期間に余裕が無い場合は、早めに更新しておきましょう。
- (4) 学科試験合格通知書。
 - ① 技能審査に合格し、技能証明の申請を行うまで有効であること。
 - ② 入所審査及び技能審査の際に学科試験の合格年月日を確認するために**原本が必要です**。
- (5) VHF無線搭載機を操縦する場合、無線従事者免許（航空無線通信士、又は航空特殊無線技士）を携帯しなければなりません。資格はありますか？
- (6) 眼鏡等の限定がある場合は、予備眼鏡を含めて眼鏡を用意しましょう。
 - ※ コンタクトレンズを使用している人も、予備眼鏡が必要です。
- (7) 入所審査に合格したら、書類にサインをもらい指定養成施設開所の準備に入る。

(8) 入所審査を受けるとき提出する書類

- 入所審査成績報告書（様式 14-1）
- 入所審査判定要領・成績表（様式 14-2）A4用紙表裏印刷した1枚もの
 - ※入所審査合格後に[入所申込時に事務局へ提出する書類]を作成する。
 - ※入所申込書の訓練所長の署名・捺印は[入所申込時に事務局へ提出する書類]のチェックと乗組員飛行日誌（ログブック）の内容確認後行われるので、乗組員飛行日誌を合わせて訓練所長へ提出の事。

5. 入所申し込みを行う。

(1) 入所申込時に事務局へ提出する書類

- 入所審査成績報告書（様式 14-1）
 - ・総合判定に合格の記入はあるか？
 - ・指定養成教官の署名捺印はあるか？
 - ・担当者署名捺印はあるか？
 - ・担当者は主席実技教官、主席学科教官、技能審査員
- 入所審査判定要領・成績表（様式 14-2）
- 入所申込書
 - ・別添の記入例に従って、内容に注意しながら記入して下さい。
 - ・指定養成施設登録教官の署名捺印はあるか？
 - ・訓練所長の署名捺印はあるか？
- 乗組員飛行日誌（コース開所前 30 回以上）
 - ・ログブックの飛行時間、飛行回数を再度、慎重に、確実に C'K しましょう。
 - ・ログブックの備考欄に、実施した課目が書かれていますか？
 - ・ログブックの確認：ログブックは、あなたの飛行記録を証明する唯一の書類です。記入にはログブック巻頭の「滑空機乗組員飛行日誌記入要領」に従い、正確に洩れなく記入して下さい。
- 指定養成施設計画書（あらかじめメールで提出）
- 技能証明申請書（様式 19 号の 2）
 - ・現住所欄は住民票に記載のある住所か？
 - ・修了又は判定年月日欄は空白か？
 - ・教育期間又は判定事業者名称欄は「公益財団法人日本学生航空連盟」か？
 - ・H B 又は B の鉛筆で、楷書で丁寧に記入してあるか？
 - ・アルファベットの氏名は名一姓の順になっているか？
- 住民票 1 葉（本籍の記載されたもの、入所審査時 3 ヶ月以内）
- 学科試験通知書の写し、コピー版 2 葉
- 顔写真（審査前 6 ヶ月、脱帽、上半身、無背景、裏面に「氏名、撮影年月日、自家用」記載）1 葉（3 x 2.5 cm）
- 手数料 16,500 円

6. 技能審査を受けるとき審査員に提示・提出する書類

(提 示)

- 航空機操縦練習許可証（受審機の単独飛行証明が記載されていること）
- 眼鏡等の限定事項がある場合は予備眼鏡を含めて眼鏡
- 乗組員飛行日誌
- 無線従事者免許
- 学科試験結果通知書（原本）

(提 出)

- 様式 9-1-1（表）学科教育実施記録表
- 様式 9-1-2（裏）学科教育修了試験成績表
- 様式 9-2 実技教育実施記録表（ウインチ曳航）
- 様式 9-6 実技教官引継表
- 様式 9-4（表）技能審査成績報告書
- 様式 9-5（裏）技能審査成績報告書成績表

7. 審査終了後学連事務局に提出する書類

- 様式 9-4、9-5 技能審査成績報告書
 - ・担当教官の署名捺印はあるか？
 - ・審査員の署名捺印はあるか？
 - ・総合判定に合格の記入はあるか？
- 様式 9-1-1、9-1-2 学科教育修了試験成績書
 - ・担当教官の署名捺印はあるか？
- 様式 9-2 実技教育実施記録表（ウインチ曳航）
 - ・主席実技教官または審査立会い教官の署名捺印は2ヶ所（審査前・審査後）あるか？
- 実技教官引継表（ウインチ曳航）
 - ・担当教官の署名はあるか？
 - ・総回数、単独発数は入所時回数が記入してあるか？
- 指定養成期間中の発航記録
- 指定養成期間中のフライトログのコピー
- 指定養成期間中のヒヤリハットレポート（発生した場合）
- 訓練開始点検表
- 教育施設、訓練機材等点検報告書（訓練所長作成）
- 記入漏れはないか？
（その他事務局で準備する書類）
- 教育施設、訓練機材等点検報告書（訓練所長作成）
- 技能審査結果の評価に関する報告書（担当者作成）

8. 技能審査終了後の諸注意

- (1) 学連に必要書類提出後おおよそ1～2週間で航空局から技能証明書が交付されます。技能証明書は事務局が受け取り、受審者に通知します。
※技能証明書の郵送を希望する場合は、書類提出時に簡易書留の封筒に、宛先、切手を貼り事務局に提出してください。
- (2) 技能証明書が交付された時点で現有の操縦練習許可証は失効します。
- (3) 技能証明書を受け取ったら速やかに航空身体検査を受けてください。練習許可証が失効して航空身体検査証明が届くまでは航空経歴となる飛行はできません。
- (4) 航空従事者は、航空機に乗り組んでその航空業務を行う場合には、技能証明書の外、航空身体検査証明書を携帯しなければならない。

期別は、事務局に問合せ下さい。

<Rev-2016/06/01>

事務局受付印

期別 _____ 期

指定航空従事者養成施設

入所申込書（記入例）

入所審査が終わり、この入所申込書を作成した日を記入します。

平成23 年 4月 1日

日本学生航空連盟
指定養成施設管理者 殿

所属大学名 滑空大学 3年

住民票に記載された住所を記入します。

氏 名 学連 一郎

経歴は、入所審査の飛行を含んだ飛行時間及び飛行回数を記入します。

連絡先住所 東京都港区新橋1-18-2

同 電話 03-6206-1235

私は、当養成施設に於いて自家用操縦士（滑空機・上級）の資格に係る養成コースに入所したく、入所審査成績報告書、入所審査判定要領・成績表、フライト・ログ（最近30回分のコピー）、学科試験結果通知書（コピー）および手数料を添えて申し込みます。

▽ 経 歴（入所審査のフライトを含む、入所申込書提出以前の経歴を記入）

滑空機	上 級	動 力	課程の科目を練習した飛行回数	
			ウインチ曳航回数	
総 飛行時間	26時間 43分	0時間 0分	ウインチ曳航回数	133回
〃 飛行回数	133回	0回	空中操作科目	31回
単独飛行時間	8時間42分	0時間 0分	緊急処置科目	7回
〃 飛行回数	31回	0回	失速及び回復	20回

ログ上で確認できる回数。

空中操作課目とは、指定養成施設内に行う課目で、①低速飛行、②最良滑空速度による滑空、③最小沈下速度による滑空、④地上目標を中心とした旋回、⑤急旋回及びソアリングのこと。

▽ 操縦練習許可書の番号、期限

東事総 第 100 号

有効期限 2016年 4月 1日 まで

▽上記の者は指定養成施設に入所し、当課程を期間内に修了する能力が有ると認めます。

指定養成施設登録教官 署名 _____ 印

（入所審査を行った教官は原則として技能審査に立ち会うこと）

訓練所長 署名 _____ 印

入所審査成績報告書 (記入例)

(上級滑空機)

総合判定

① 受審者調書 (受審者記入欄)

ふりがな がく れん いち ろう

生年月日

氏名 学 連 一 郎



2001年 4月 1日生

受審する資格

審査の種類

既得の技能証明

自家用操縦士

技能証明

東事総 No 第100号

審査に使用する滑空機

等級

型式

国籍・登録記号

操縦練習許可書番号
No 東事総 第100号
有効期限
2023年 4月 1日

上級滑空機

アレキサンダーシュライハー式
ASK21型

JA2520

現住所

東京都港区新橋1-18-2

郵便番号 105-0004

連絡先
(大学名)

滑空大学

電話番号

学科試験合格

2010年 5月 10日

受験地 東京

飛行経歴 (入所審査を受ける前までの経歴を記入)

上級滑空機

総飛行時間および回数

26時間 33分 131回

受験する滑空機と同型式の滑空機の飛行時間、回数

17時間 51分 100回

滑空機・上級による単独飛行時間および回数

8時間 42分 31回

② 教官の証明 (指定養成教官記入欄)

受審者 _____ は入所要件に係る飛行経歴および所定の技能を有していることを証明します。

教官の有する技能証明の資格と番号 _____ 操縦士 No _____

操縦教育証明 No _____

年 月 日

教官署名 _____ 印

③ 審査の実施 (担当者記入欄)

期日 年 月 日 場所

担当者

印

(特記事項)

住民票に記載された住所を記入。

飛行経歴は、入所審査前までの飛行時間および飛行回数

※総合判定は合格、年号は西暦表示とする

技能審査成績報告書 (記入例)

(滑空機)

総合判定

① 受審者調書 (受審者記入欄)

ふりがな		がくれんいちろう		生年月日	
氏名		学連一郎 (学)		2001年 4月 1日生	
受審する資格		審査の種類		既得の技能証明	
自家用操縦士		技能証明		_____No_____	
審査に使用する滑空機				操縦練習許可書番号	
等級	型式	国籍・登録記号		No. <u>東事総第100号</u>	
上級滑空機	アレキサンダーシュライハー式ASK21型	JA2520		有効期限 <u>2023年 4月 1日</u>	
現住所	郵便番号 105-0004 東京都港区新橋1-18-2 電話番号 03-6206-1235				
大学名	滑空大学 電話番号				
学科試験合格	2010年 5月 10日 受験地 東京				
飛行経歴 (技能審査を受ける前までの経歴を記入)					
上級滑空機	総飛行時間および回数		29時間	12分	146回
受審する滑空機と同型式の滑空機の飛行時間、回数			19時間	53分	116回
上級滑空機による単独飛行時間および回数			9時間	43分	33回
② 教官の証明 (指定養成教官記入欄)					
受審者 _____ は指定養成施設の所定の教育を修了し、技能審査に係る飛行経歴および所定の技能を有していることを証明します。					
教官の有する技能証明の資格と番号 _____ 操縦士 No. _____					
_____ 操縦教育証明No. _____					
年 月 日					
教官署名 _____ 印					
③ 審査の実施 (審査員記入欄)					
口述審査	期日	年	月	日	場所 審査員 印
実技審査	期日	年	月	日	
(特記事項)					
④ 教育課程の修了 (日本学生航空連盟確認欄)					
担当者	印	責任者	印	管理者	印

住民票に記載された住所を記入。

飛行経歴は、技能審査までの飛行時間および飛行回数。

指定養成施設計画書(案)記入例

公益財団法人日本学生航空連盟

訓練所長 中村 暢宏

担当者 深田 浩

学生班長 学連太郎

1. 目的 自家用操縦士(滑空機)上級技能証明取得のため期別第〇〇〇期の指定養成コースを開催する。
2. 場所 妻沼滑空場 住所:埼玉県熊谷市葛和田 1975 連絡先:(TEL)048-588-0697
3. 指定養成施設管理者、教官並びに技能審査員

管理者	吉田 正克
学科首席教官	深田 浩
実技首席教官	太田 洋一
担当学科教官	田中 昇、江口 正、田村 花子
担当実技教官	田中 昇、江口 正、田村 花子
技能審査員	中村 暢宏、八尾 正孝

4. 訓練生

氏名	電話番号	大学名	実技担当教官
学連 太郎	携帯電話 メールアドレス	新橋大学2年	田中 昇、江口 正、 田村 花子
〇〇 〇〇	同上	新橋大学3年	〃

5. 期間 2021年2月10日(水)~2021年4月6日(火)

(場所:学科-公益財団法人日本学生航空連盟事務所、妻沼滑空場 実技-妻沼滑空場)

入所審査日:2021年2月20日(土)

日程	内 容	担当教官
3月10日(水)	学科(1-1,1-2,2-1) 2時間30分 15時~	田中 昇
3月11日(木)	学科(2-2,2-3,2-4,2-5) 4時間 13時~	江口 正
3月12日(金)	学科(3,4) 2時間30分 15時~	田村 花子
3月15日(月)	学科(5) 1時間 17時~	田村 花子
3月16日(火)	実技(1-1,1-2,1-3,1-4)	田中 昇
3月17日(水)	実技(1-5,1-6)	江口 正
3月18日(木)	実技(1-7,1-8)	田村花子
3月19日(金)	実技(2-1, 2-2,3-1, 3-2)	田村花子
3月20日(土)	実技(3-3)	田村花子
3月21日(日)	実技予備日	
3月22日(月)	技能審査日	技能審査員
2月23日(火)	技能審査予備日	

使用予定諸機材

(1) 機 体:アレキサンダー・シュライハー式 ASK21 型

JA2520(耐空証明期限:2022年〇月〇日、JA05KH(耐空証明期限:2022年〇月〇日)

JA2379(耐空証明期限:2022年〇月〇日)

ウインチ:法政 2連ウインチ、学連 4連ウインチ 1号・2号

(2) リトリブ:法政 2連リトリブ、学連 4連リトリブ 1号・2号・3号

(3) 無線機:新橋大学/日本学生航空連盟

機材車:新橋大学/日本学生航空連盟

その他機材:新橋大学/日本学生航空連盟

7. 予 算

教官謝礼・着陸料・宿泊料・食費・その他経費

以上

訓練開始点検表

項目	内容・要領	/	/	/	/	/	/	/
A. 機材	使用機体							
滑空機	チェックリスト、航空日誌、耐空検査							
ウインチ	〃 整備日誌、6月点検							
曳航索	エンドセット、消耗、総使用回数、他							
索引車	チェックリスト、運航日誌、整備状況							
無線機	バッテリー、送受信状態、日誌、免許							
救急用具	チェックリスト、内容							
その他機材	〃							
B. 訓練生	参加人数							
健康状態	病気、精神、睡眠、薬品の服用							
服装	帽子、作業服、靴							
練習許可書	期限、身体検査証、技能証明書							
経歴・知識	必要な教育							
人員配置	所定の部所、監視人、班、係							
ピストの構成	発航管理、記録、指導員							
C. 情報								
飛行空域	航空情報、管制機関との電話連絡							
滑空場・周辺	障害物、路面状況、使用規則							
場外着陸場	長さ、幅、路面、傾斜、障害物							
気象情報	現況、予報、天気図、气象台							
引き継ぎ事項	前日からの申し送り、ヒヤリ・ハットレポート							
訓練計画	内容、適否							
諸規則	法規、スポーツ手帳、各基準							
D. テストフライト								
機体全体	失速速度・特性、安定、異常音							
操縦装置	各舵の作動状況、効き							
計器類	各計器の指示、他							
無線通信	送受信テスト							
曳航状態	加速、速度、離脱、他							
気象	気流、視程、雲高、他							
確認者	指導員署名欄							

提出日 年 月 日

学連機材借用届

(財)日本学生航空連盟 御中

_____ 大学
主 将 _____ 印
担当者氏名 _____
担当者TEL _____

貴連盟所有の機材を下記のとおり借用させていただきます。

内 容	
使用期間	年 月 日から 年 月 日まで
目 的	

なお、借用いたしました物品を万一破損もしくは紛失いたしました際には、当方にて責任をもって修理、弁償等をおこない、原状に復してお返しします。

妻沼	月 日 印	本部	月 日 印
----	-------	----	-------

借用する者が訓練所長に借用の了解を得る。